

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候が良く暖かくなり、客の稼働時間が長くなったことと、来客数が増えたため、良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新生活が始まって、新しい客が増えている。
		その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・当社の低価格な葬儀のやり方が大分浸透して、近隣の市町村からの問い合わせや見積、依頼などが増えている。
		一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・客の問い合わせが多少、増えてきている。少し財布のひもが緩んできているのではないかと。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・競合店が改装で3週間ほど休んだため、その分販売量が良い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・冬に比べて4月はだいぶ暖かくなってくるので、もう少し売上が伸びなければいけない。イベント数が少なく、また、前年は大河ドラマなどもあったが、今年は特別なイベントがなかったこともあり、若干、来客数、売上が停滞している。ただし、冬と比べれば良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・土日は天候不順で気温は低めだったが、売上に影響はない。売上は前年比103%で推移している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・製造業勤務の客からは、仕事量が増え、残業が多くなったという話をよく聞くようになっている。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・自動車販売と修理をしているが、来客数が明らかに増えている。今年に入って徐々に増えていたが、4月は特別である。前年と比べても、3割増くらいの来客数である。それに伴い売上ももちろん増えている。ただし、残念ながら単価は下がっている。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・競争は激化しているが、わずかながら客単価の上昇とともに、来客数も回復し始めている。また、設備投資も従来より増加傾向にあることがさまざまな会合のなかで聞かれた。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・4月後半は気温が高い日が多かったせいか、前年よりも来客数、売上共に多くなっている。花見を主とする観光客も増えている。宴会の予約件数も多く、消費するアルコールも多い。懸念材料は、食材費が高騰してきていることである。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・インバウンドが今年は好調である。ただし、地域間で差異があるようなので、当地も引き続き誘客に努めなければならない。1点気になっているのが、来客数は増加しているものの、宿泊単価が上がらないことである。今後の課題は、原材料費や光熱費が上がった分を、しっかりと価格に転嫁できるかである。
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・特に、宿泊に対する客単価が上昇している。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・鉄道会社の大型観光キャンペーンのスタートとともに、新型車両の導入などが重なり、観光客へ豊富な情報が提供され、来訪客の増加に効果をもたらしている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・比較的安定した天候であったため、入園客も増加傾向である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・春になり近隣観光地がオープンし、雪見目当てのインバウンド客が大勢押し寄せている。近年は台湾からの客が多かったが、今年は韓国、香港、インドネシア、欧州からの観光客が増加傾向である。
		ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・標高は高いが、気温の上昇や気候も安定し、桜前線とともに客足も伸びている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・若い客は、単価の低いカットアンドブローの美容施術が多く、年配の客は単価の高いカットカラー、カットパーマなどが多い。年配の客ほど美容にはお金を使う傾向が強くなっている。また、偶数月15日が年金支給日なので、高齢客が増えており、売上は増加している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新年度に向けた動きが終わり、店舗、事務所等の移動も一段落している。ただし、以前よりは引き合いが若干多く、新規事務所等の出店もあり、動きはやや良くなっている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・天候の影響もあるだろうが春物の動きは、ぱっとしない。買換えの客も少なく、売上は前年実績を維持するのが精一杯である。	

	商店街（代表者）	来客数の動き	・高額な商品1点が売上に貢献したため、売上と単価は良いが、来客数はかなり落ち込んでいる。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・桜の開花が1週間遅れ、入出に影響があった。月末の祭日に行われる祭りも、前年に比べて見物人は半分だが、一昨年に比べると1.5~1.8倍ではある。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・暖かい日が続き、花も満開になり、入出を待っていたが、気候が不順だったため、客の動きは今一つである。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・家電品の購入は高額な修理代による買換え需要が主になっており、買い増し、新規購入は極端に少ない。家電に限らず、消費が落ち着いているため、消費者に購買意欲を出させるのは厳しい。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・相変わらず、客は余計な物は買わない。欲しいと思う物は買うが、ついで買いなどは見受けられない。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・低調だった衣料品群がやや向上してきている。食品は変わらず堅調に推移している一方で、住関連が不振である。トータルでは3か月前と比べて変わらない。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・食品大型物産展が堅調で、来客数は前年比プラスに推移している。しかしながら、衣料品は依然として厳しい状況が続いており、店全体の売上は前年並みである。
	百貨店（副店長）	販売量の動き	・当店の事情で、来客数が前年を下回っているのは止むを得ないが、その減少幅以上に、売上が不振である。物産展は何とか売上を作っているが、ファッションはもとより、好調が続いていた雑貨の勢いにもやや陰りがみられ、心配は尽きない。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・今月も衣料品、住居商材、食品、全ての売上が前月同様、前年割れである。今月も厳しい状況は変わらない。
	スーパー（統括）	来客数の動き	・メモを片手に、余計な物は買わないという消費傾向が続いている。特に午前中に買物をする中高年層が増えているが、1日を通すと来客数、売上共に前年並みである。
	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・既存店の売上は、集客イベントの回数を増やしたり、価格訴求等でどうにか前年を維持している。3か月前と比較しても変動がない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前と大きくは変わっていないが、来客数は若干落ちてきている。ただし、客単価は多少良い。また、気温があまり上がらず低かったため、あまり良くない状況である。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月は年金支給月だったので、前月までよりは、幾分、客の出が良かったようである。それでも、全体的に4月の雰囲気ではない。4月は、これから暖かくなるなかで気持ちが和らぎ、消費行動に動くという季節感が今までであったが、今年の客からはそういった様子が見受けられない。先行きに不安材料を抱えているのではないか。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売は年度初めを迎えたが、依然低迷している。車検や一般修理部門が忙しいため、なんとか利益を出している。言い換えれば、車両購入するには厳しい生活環境が続いているということかもしれない。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・当社は輸入車、国産車の新車、中古車販売と指定サービス工場で民間車検もやっている。今月は、車検入庫はまずまずの台数があったが、中古車の販売台数はここ2~3か月前と比べて伸びており、今月の売上はやや良くなっている。
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・3月の駆け込み需要と現在扱っている車両の商品力不足により、新車販売台数は、前年同月を大幅に下回っている。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・車の販売量及び単価は低下傾向にあり、決して良いとはいえない。単価の低い物が動き、高い物は動かない。消費税が上がってからは、この傾向がずっと続いている。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・買換え商材は堅調ながら、新規購入は減少している。
	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・ここ数か月、状況は変わらない。単価の下落傾向が続き、季節商材の動きも鈍い。競合店の出店もあり、厳しい状況が続いている。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売に変わりない。

その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・来客数が増加しているのに、買上比率が落ちてい る。悪いと答えないのは、飲食並びにアミューズメン トは好調なためである。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・単価的には悪くないが、来客数、売上とも安定しな い。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・ランチとディナーの客層が少し変化しつつあるよう である。具体的には、昼間は主婦層、女性客が多く、 夜の客層は酒を飲まない客が入ってきており、売上が 思うように伸びない。
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・暖かくなった分、人は動いているが、消費が増えて いるわけではない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・若干上向き状態が続いているが、目立っては上向い ていない。
スナック(経営 者)	来客数の動き	・毎回、来客数の動きか、お客様の様子を選択してい るが、ともかく良くはない。地方の人口減少の影響が 大きいようである。
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・例年3～4月の稼働率は高く、それなりの稼働率は 確保できているが、例年に比べて特別良いという状況 ではない。例年どおり、もしくは客の状況にもよるが 若干低めで、ほぼ変わらない。
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・繁忙日の差が激しい。例年4月はこのような感じ である。後半からのゴールデンウィークは海外からの個 人旅行者に加え、インバウンド予約が多数入ってきて いる。
都市型ホテル (営業)	販売量の動き	・地元企業が引き続き好調で、3か月前と比べて売上 は増えているものの、前年同期と比べるとマイナスで ある。
旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・例年同様、年頭行事や年度初めのために客の動きが 鈍い。国内旅行は受注減となっている。海外旅行も情 勢等が安定しないため、ゴールデンウィークの申込が 少ない。
タクシー(経営 者)	お客様の様子	・夜の動きが悪く、前年同月と比べて4%の減少であ る。
通信会社(経営 者)	お客様の様子	・相変わらず新規加入は低調である。保留や解約も少 なくなりつつあるが、厳しさは変わらない。
通信会社(営業 担当)	単価の動き	・仕入価格の高騰などが影響し、物価上昇の傾向が続 いている一方で、デフレ傾向に戻る動きもある。中途 半端な状況となっている。
ゴルフ場(総務 部長)	来客数の動き	・3か月前はクローズ期間で来場者に動きはないが、 前年同期と比べてもあまり変わらないため、景気の変 化はみられない。
その他サービス [自動車整備 業](経営者)	単価の動き	・客単価が下値傾向で安定している。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・近隣の大型店舗が前月オープンしたのに伴い、来客 数は増えている。ただし、客の買回りは、必要と思う 物のみという行動が続いている。単価並びに販売量は 横ばいであるため、変わらない。
その他サービス [イベント企 画](職員)	お客様の様子	・地方での客の動きは、依然変わらない。
設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・計画物件が少なく、完成までに時間のかかる物件が 増えている。
設計事務所(所 長)	来客数の動き	・年度初めということもあるのか、あまり情報が入っ てこない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・利用されない空き別荘が増加傾向にある。
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・売り物件の問い合わせは増加傾向にあるが、成約ま では至らない。地価の変動もなく静かな状況が継続し ている。
商店街(代表 者)	お客様の様子	・給料等はいくら上がったというが、それ以上に物 価が上がっている。仕入価格が上昇し、価格に転嫁さ れて、結局、客の購買力が減っている。
一般小売店[衣 料](経営者)	販売量の動き	・今月は祭りが行われたため、各町内から注文をもら い、多少商売があったが、観光客等の売上は全くな い。
一般小売店[家 電](経営者)	お客様の様子	・客の消費意欲が、下降気味である。
一般小売店[青 果](店長)	競争相手の様子	・当店から200メートル前後のところに同業店が2軒 あったが、どちらも4月までに閉店している。

	百貨店（店長）	来客数の動き	・退店するショップが増え、来客数が減っている。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を割り、それに伴い売上が1%下がっている。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店ができたため、やや悪くなっている。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前月の反動かもしれないが、今月の自動車販売の動きは鈍い。また、小売業も大規模店の入込客数はそこそこだが、売上はあまり伸びてはいないようである。ましてや小規模店舗はもっと大変である。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月に入り、がくっと来客数が落ち込んで、なかなか回復してこない。異動の月で人の増減はあるが、状況がつかめない。通行量も少ないようである。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今冬前半は雪が少なく、前年と比較して売上が好調だった。前年4月は大河ドラマの影響で好調に推移していたため、今年はその反動により売上が落ち込んでいる。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・前月は送別会等で多少は動いたが、今月は歓迎会の時期なのに、全然動きがなく、前月より100,000円以上、売上が落ちてしまっている。電車から降りてくる人も少ない。	
	タクシー（役員）	それ以外	・ドライバーの高齢化による離職率上昇のため、やや悪くなっている。	
	通信会社（店長）	単価の動き	・販売数は前年同月並みだが、利幅のない目玉商品で販売数を稼いでいる。	
	ゴルフ練習場（経営者）	来客数の動き	・世界情勢の変化、人口減少、労働者の高齢化により、企業の効率化が追い付いていない。	
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・4月に入り、大手美容室チェーンに続いて著名な美容室も倒産するなど、美容業界の経営は依然厳しく、生き残り競争の時代になっている。	
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・取引先等の様子から、設備投資が減少している。	
	×	家電量販店（店長）	販売量の動き	・移動マーケットの最終週である今月上旬も、例年と比べて盛り上がりず低迷している。テレビや冷蔵庫、洗濯機は前年比100%以上になってきているが、住宅物件に比例するエアコンは数量比97%と前年割れである。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・決算後は受注が大幅に落ち込む。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量の下降が止まらない。年度末景気が全く起こらず、新年度はより一層厳しい状況である。
	×	美容室（経営者）	単価の動き	・今月は入学式などで美容室を利用する人が多く、売上も例年近くあったものの、それ以外の営業日ではかなり落ちた日もあり、全体では前月比2割減である。何が原因か考えると、生活に余裕がなくなれば美容などにお金はかけられないが、娯楽、例えば近所のショッピングモールへ出かけ、食事をすることなどにお金の流れがいったのではないかと考えている。それでも美容室は新店舗ができ、競争が激しくなっている。
企業 動向 関連 (北関東)	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの北米輸出が好調なうえ、国内販売も20,000台を超えるバックオーダーを抱えている。	
	その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・3～4月は年度末の前後で、受注量や販売量が増加している。今年は特に例年以上に増加している。	
	化学工業（経営者）	取引先の様子	・取引先から、新規物件が決まり発注量が増えるとの連絡があり、少しずつだが受注は増えている。本格的になればもう少し増加するのではないかと期待している。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年4月と比べて受注額が2割増しである。	
	金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・当社が1～3月に調査した業況アンケートによれば、1～3月期の業況判断DIは2期連続の改善である。特に、製造業のDIが大幅に上昇しており、2期連続で改善し3年ぶりにプラス水準となっている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ここ3年ほど4月の広告宣伝は控え目であったが、今年度スタートはなかなか積極的な宣伝活動を行っている。チラシやパンフレット、さらにラジオCMなどの発注も前年より10%ほど伸びている。	
	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・売上の量、金額共に順調に伸びているが、人件費の高騰、資材費等、諸経費の値上がりによって、利益率は低下している。	

	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・同業者間では、良くなることを期待している。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・売上は大きく伸びてはいないが、新規案件の引き合いが多い状況は続いている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・リン青銅が不足していて、当社では部品が2～3か月先の納入になってしまうため、生産に支障が出ている。このため本来なら売上に計上できる物が全く売上にできないという危機的な状況に陥っている。ゆゆしき問題だが、当社のような小さいところでは、どうにもならない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・短納期、低コストであるものの、受注は安定してきている。一方で、パーツ、部品の確保が難しく、厳しい状態が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先が十数社あるので、業績の良い、悪い、普通と、いろいろあり、どちらともいえない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候の良い日が続く、特にインターネット通販向けのパーベキューセット、炭、レジャーシート等のレジャー用品の物量が増えたが、その他の物量と合わせると前年並みの輸送量である。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連業は、個人、グループ観光客が増加しており、宿泊施設の新規オープン計画も複数ある。客の競争や、従業員の確保等、不安があるようである。これまでは地元のホテル、旅館で協力し、観光地を盛り上げてきたが、県外資本の新規出店により、売上が観光業者に還元されないと感じている。一方、建設業は今後の公共工事の見通しが立たず、減少するのではないかとの見解もあり、不安を持っている。製造業の売上は、やや減少している。景気もあまり良くないため、先行きが不安である。
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・仕事の話はあるものの、受注価格がシビアなため、経費の増加分を全く上乗せできない状況は変わらず、見積を出しても承認が下りず、他社との相見積をさせられたりしている。世間では景気が上向きになっているという割に、利益が増える状況にないという話を取引先から聞いている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比87.6%とかなり低迷している。ホームセンターの閉店に伴い、競合店の出稿量が減少している。競争がなくなったことが要因ではないか。また、スーパーでもチラシのサイズが大判から小さい物に移行してきている。
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上は多少調子の良いところがあるものの、利益はあまり出ていない事業所が多い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談数、受注量共に、特段変化はみられない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新商品の受注等は多少あるものの、依然として低迷状態である。
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格はそこまで上がっていないが、今月から資材関係、特にフェンス等の値上げがあり、その分を消化できていない。
x	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・前年から得意先が3軒もなくなり、売上、数量共に減少している。
x	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度に入ったものの、主要取引先の今期予定がまだつかめていない。5月に生産計画発表は予定されているが、現状では減産が続いている。
x	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店は自ら仕入をせずに問屋からの委託販売が中心である。問屋側もメーカーに委託販売を要求している。卸、小売向けの展示会が多く開催された月なので、細かく売上を確保したため、かろうじて前年売上を維持するも、物が売れないなか、先行きはみえない。

	x	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている。今期の公共工事発注は前年比102%と順調である。ただし、地方業者にとって重要な県の発注は前年比102%だが、市町村発注は前年比88%と大きな落ち込みである。現政権のもと3年以上順調に推移してきたが、今年度は大変厳しい。当社受注も前年比90%である。地方の建設業は10年以上厳しい経営状態にあり、当社も利益計上ができない状況が続き、今期は赤字になりかねない。
雇用 関連 (北関東)		人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人の検討から決定までのスピードが格段に早く、次々と選択肢を提示されている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・住宅新築、増改築等の建設部門は、引き続き目立っている。また、新年度、新入学等で、衣料や小物、バック類等も目立っている一方、製造業等はある程度人材等がそろっているため、少数の募集となっている。依然として介護士、保育士、看護師などの募集は目立っている。
		人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・今のところ、保養関係業務は断りもなく安定しているため、売上は安定してきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業を中心に、求人数は増加傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当社の取引先宿泊施設関係は、客室稼働率がそれほど高くなってきていない。前年同月と比べても、ほぼ変わらず、横ばいである。外国人客数は、どこのホテルも増えてきてはいるとのことだが、それと比べて国内客はそれほど伸びていない。稼働率、受入人数は、それほど変わってきてはいない。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・求人数に変化はない。生産計画等にも変化がなく停滞している。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・各企業のベースアップが少ない。また、サービス業から優秀な店員が登録に来るが、皆そろって、会社が暇で、いつ潰れるか不安なため、転職をしたいようである。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・有効求人倍率は依然高い水準で維持している。ただし、飲食をはじめとしたサービス、介護福祉などは人手不足が続き、時給を上げて募集をしても応募は少ない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・企業からの求人案内などが、例年に比べ順調に増えている。しかし、最近の求人難を反映してか、就職を希望する求職者の少ない企業が、活発に動いているようである。
		*	*	*
x	-	-	-	